

天童市議会議員定数条例の一部を改正する条例（案）に対する意見募集の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和4年7月20日（水）～8月10日（水）
- (2) 受付件数 2人
- (3) 提出方法 郵送1人、メール1人

2 提出された意見の概要

番号	意見等
1	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・定数1名の削減（案）に反対である。・報酬引き上げを特別職報酬等審議会に付託するならば複数削減が必要である。・定数は2名削減の20名とすべきである。 <p>【理由】</p> <p>天童市の人口減少傾向と人口規模で同規模の市との比較からみて、定数は20名程度が望ましい。</p> <p>「市民の意見を市政に反映させる環境を確保するため、最小限の削減とすべきとの結論に至った」との説明は、議員のアンケート結果や若手経営者からの意見、議会報告会での意見、アンケート意見の総体的な内容から合理性に欠けている。</p> <p>議員アンケート調査結果では、複数の定数削減の意見が多いのに、何故に1名削減となったのか、その理由と根拠が合理性に欠けている。</p> <p>【付随する意見と指摘】</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の報告は「議員だけの検討で定数削減と報酬増額の結論を導いた」と理解されるのではないかと。議会報告会は参加者が少なく市民の声が集約されたとは言いがたい。市民への情報開示と市民の声の集約には至っていないとみるのが妥当ではないのか。・議会改革と議員報酬は、「有識者や市民の代表を加えた第三者委員会を設置して検討される」のが本来の姿である。今回の議員定数や報酬の増額を当事者の議員だけで決めることには、市民の多くが納得されないのでは。・庄内町の議会改革の議論と足跡は、市民やマスコミでも高く評価されたことは最近のことである。庄内町議会では、

	<p>女性だけの模擬議会の開催、第三者委員会での議論、議会と議員の見える化施策の実施等、積極的で前向きな議論が展開され、結果として立候補者の増加で定員割れの課題を克服されたのは、市民への情報開示と多数の市民参画があったからといえる。</p> <p>・この点から見ても、天童市議会は議会改革やなり手不足問題について議会（議員）から市民への情報提供が不十分であり、また、議員や議会の工夫と努力が感じられず、多くの市民を巻き込んだ議論が起きなかったこと自体が、議員自らの議会改革意欲と市民の政治参加意識、議会への信頼などに大きな課題を残したのではないか。</p>
2	<p>議会は多様な意見を反映するべき場であり、議員定数の削減には必要性を感じないので基本的には反対。仮に検討委員会が議員定数の検討＝定数削減をゴールとして設定していたのであれば、1人減の定数21人は、資料④類似自治体の平均人数程度(20人程度)に近いことから、最低人数の削減に留まったという点において、評価したい。天童市の人口減少の進行が比較的緩やかなこと、市民の意見を市政に反映する環境を確保するという観点を大切にすることも分かりましたので、この点も含めて1人減の結論としたことは評価したい。</p> <p>議員のなり手不足が危惧され、本市でも市民の議会活動に対する関心が薄らいでいるのではないかという状況の解決策となるのかどうかについては甚だ不透明。こうした課題の解決に向けた取り組みを引き続き注力してほしい。</p>

3 市議会の考え方

議員定数につきましては、当初、議員アンケートなどから複数削減の意見が多い状況にありましたが、2回の議会報告会での意見聴取やアンケート調査、若い世代との意見交換などの御意見を参考に協議を重ねてまいりました。その結果、議員定数・議員報酬検討特別委員会では、本市における人口減少の進行が比較的緩やかであることや、市民の意見を市政に反映する環境は十分に確保しなければならないなどの観点から最小限の削減とすべきとの結論に至りました。いただいた御意見につきましては、全議員で共有し、来る9月定例会において、天童市議会議員定数条例の一部改正について議会から提案し、採決を行う予定となっております。

なお、議員報酬につきましては、議員等の報酬を定める条例の改正を議会が提案することはできず、市長が議員定数・議員報酬検討特別委員会の最終報告を参考とし、市民の意見を聞くため天童市特別職報酬等審議会を開催するなど、検討を行うこととなります。

※議員定数に関する内容を掲載させていただきました。そのほかの内容についていただいた御意見につきましても、今後の議会運営、議員活動等の参考にさせていただきます。ありがとうございました。